

1-02 ローイングの歴史

●近代のボート競漕の歴史です。

- 1715(正徳5) 英国ではじめてのボート競漕開催(現在も続く)。
- 1775(安永4) ロンドンで最初のレガッタ。漕艇が世界に広がり始める。
- 1815(文化12) オックスフォード大にボートクラブ。学内対抗レース始まる。
- 1829(文政12) 英国、オックスフォード-ケンブリッジ対抗レガッタ始まる。
- 1839(天保10) ヘンリーレガッタ始まる。米国ハーバード大で漕艇始まる。
- 1847(弘化4) 英国でキールのないシェルフォアが登場。
- 1853(嘉永6) 磨かれた板座の上にラードを塗り、足を使い始めた。
- 1854(安政1) 長崎、海軍伝習所の教科に漕艇の記録あり。
- 1856(安政3) シェルエイトがヘンリーで優勝。シェル艇時代が本格化。
- 1857(安政4) 米国、J. C. バブコックが滑席艇を実験。(～69年までに実用化が進む)
- 1866(慶応2) 横浜山で英国人がバージクラブを創立。
- 1875(明8) F. W. ストレンジ来日、大学予備門訓導となる。
- 1877(明10) この頃、国内大学有志が漕艇部を創立
- 1892(明25) FISA: 国際漕艇連盟創立(フランス、スイス、イタリア、ベルギー)。
- 1905(明38) 第1回早慶対抗レース。
- 1919(大8) 日本最初のシェル艇対抗レース(東大VS早大)
- 1926(昭1) 名コーチ、フェアバーンがローイングノート著作。
- 1928(昭3) 五輪に初参加。(関東大学選抜4+, 石井1x)
- 1934(昭9) この頃までオーソドックス漕法が主流。
- 1939(昭14) 第二次世界大戦勃発。文部省が学生の運動競技を休日以外禁止。
- 1943(昭18) 学徒体育大会の全面禁止。
- 1944(昭19) 第二次世界大戦でオリンピック中止。戦局が悪化し、全ての競漕会中止。
- 1945(昭20) 第二次世界大戦終息。隅田川・向島で競漕会復活。
- 1946(昭21) 第1回国体夏季大会。瀬田川。KFを採用。
- 1951(昭26) 瀬田川、第1回全日本社会人実業団選手権。
- 1953(昭28) 瀬田川で第1回全国高校総体。
- 1957(昭32) 早慶レガッタで沈没レース。後に小学校の教科書に載る。
- 1959(昭34) 欧州選で西独圧勝。アダム漕法とマコンブレードの登場。
- 1962(昭37) スイス、ルツェルンで第1回世界選手権。日本から24名参加。
- 1964(昭39) 戸田漕艇場落成。東京五輪。
- 1968(昭43) 国体にシングルスカル採用。フィックスを廃止。
- 1969(昭44) 全日本女子選手権始まる。
- 1974(昭49) 高校総体でシェルフォア始まる。第1回インカレ始まる。
- 1977(昭52) FRPオールが本格的に普及し始める。
- 1980(昭55) モスクワ五輪。西側諸国、日本のボイコット。
- 1991(平03) コンセプトがビッグブレード開発。高校総体、国体でナックルフォア廃止。
- 2000(平12) シドニー五輪、ML2xが初の6位入賞。世界選手権でML4xが初優勝。
- 2002(平14) 世界選手権(セベリア)で初のアダプティブ種目開催。
- 2005(平17) 世界選手権が岐阜で開催(アジア初)。
- 2006(平18) 日本アダプティブローイング協会設立。後の日本パラローイング協会。
- 2007(平19) 世界選手権に日本から、初のアダプティブ代表チーム派遣。
- 2008(平20) 北京パラリンピックにTA2xが出場。
- 2013(平25) 競技の名前が、アダプティブローイングからパラローイングに代わる。